

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成28年度 事業報告 (案)
 第2号議案 平成28年度 決算報告 (案)
 第3号議案 平成28年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 平成28年度 補正予算 報告
 平成29年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

総 会 運 営 委 員

新堀 隆男 栗原 真 遠藤 真里
 萩原 貴之 長坂 純 倉内 克憲

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成28年度事業報告（案）

平成 28 年度事業報告 (案)

1. 総括

第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会では役員選挙があり、これまでの技師会活動実績の評価をいただく総会でもあります。会員の皆さまからのご意見を頂戴し、技師会運営に反映してまいりたいと考えております。役員全員一丸となって技師会の発展のために取り組んでまいりたいと思います。

平成 28 年度の主な出来事

(1) 一般

- ①電力自由化
- ②熊本地震
- ③伊勢志摩サミット
- ④オバマ大統領が広島訪問
- ⑤ 18 歳選挙権施行
- ⑥山の日が国民の祝日に
- ⑦ SMAP 解散
- ⑧リオ五輪開催
- ⑨ノーベル生物学・物理学賞に大隅良典氏決定

(2) 医療

- ①日立製作所、住友グループが乳癌大腸がんを尿で判定する技術を開発
- ②癌 5 年生存率向上
- ③人工知能 Watson が白血病の治療法助言
- ④オプジーボ高額な薬価が社会問題
- ⑤政府が医療機器の輸出後押し

(3) (公社) 埼玉県診療放射線技師会

- ①関東甲信越診療放射線技師会学術大会開催
- ② 2019 年に日本診療放射線技師会学術大会を埼玉で開催することを決定
- ③埼玉県議会と意見交換を開催

県議会・行政への実績アピール

昨年は、埼玉県議会と県立高校特別授業「放射線について考えよう」、県民に対する被ばく相談事業、原子力災害時放射線サーベイチームの 3 事業に関する意見交換を行いました。

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は 4 年目となり、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として佐々木正夫氏及び

石川昇氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティーで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応した、きめ細やかな内容となっております。これまでの事業は継続するも、DRL などの新しい知識や技術の普及にも取り組んでまいりました。

会員の育成

埼玉では、以前から講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が、他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍しております。近年では国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員育成

役員の育成は、県民へ貢献する人材育成という意味でも、大きな社会貢献であります。技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。昨年は役員研修会で「公文書の出し方」について学び、技師会役員として必要な知識を学びました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシュャーズセミナーでは、県内外から過去最高の参加者が 65 人あり、会員入会促進事業として毎年継続したいと考えています。

今年度の役員研修会は「(公社) の運営に必要な公文書と法的な契約行為」と題して、当会田中会長にご講演いただきました。常務理事のみならず、支部理事の方々も日ごろ講習会などの開催において、依頼状などの公文書を作成し発行する機会が多くなっておりますので、この機会に公文書について学ぶ機会を設け多くの役員にご参加いただきました。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている 50 年、30 年の対象者を抽出し、返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦いたしました。表彰は岐阜県で開催された学術大会にて行われました。埼玉県診療放射線技師会の 40 年、20 年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦いたしました。こちらの表彰は当会定期総会にて行われました。

恒例となりました新年当初の新春の集いは、会員、賛助会員、新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。

いずれの事業におきましても、会の事業としては継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが身近に

開催していることが大切と考えています。また最新なことのみではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては、10年以上前から読影に関してもセミナーを通じて教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成22年4月、厚生労働省医政局通知にもあったように、診療放射線技師の読影ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関しての方向性は整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は、各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ各セミナーおよび講習会を開催してまいりました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管認定講習会・CT認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また内容に関しても充実し、実践的な教育をして参りました。その他、Freedセミナー、MRI講習会、DR計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催し、多くの参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.64No.2・3・4、Vol.65.No.1の計4号を発刊しました。編集・情報活動は、本会活動の中でも重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成26年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

2016年4月より企画班を設けました。主な役割は、会誌の学術関係の企画です。今年は学術大会の企画なども行ないました。今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

- 平成28年度本会公益活動として
- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・ホームページからの被ばく相談（実績2件）
- ・がん患者支援チャリティ・イベントとしてRFLJ川越へ参加

・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を2校実施しました。

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられがちですが、内閣府の公益認定等委員会では公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という2点をポイントとしています。この2点から平成28年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者としての意識向上とチーム医療推進のために、医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

- (1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会 ◎
 - イ. 胸部認定講習会 ○
 - ウ. 上部消化管認定講習会 ○
 - エ. フレッシュヤーズセミナー（SARTセミナー） ○
 - オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー ○
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
 - カ. CT認定講習会 ○
 - キ. MRI基礎講習会 ○
 - ク. 乳腺セミナー ○
 - ケ. DR計測セミナー ○
 - コ. 救急撮影ケーススタディー ○
（日本救急撮影技師認定機構との共催）
 - サ. 読影力向上のための講習会 ○
（支部開催セミナー）
 - シ. 業務拡大に伴う統一講習会 ○
- (2) 会員講師の育成と体制づくり ○
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
 - イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
 - ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 ○
 - エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ×
 - オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 ○
 - カ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） ○

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業 ×

4. 編集・情報

- (1) 本会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術データベースの充実 ×
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携 ○
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 ○
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

平成 28 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 28 年度役員は次のとおりである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	田中 宏	
副 会 長	堀江 好一	
	富田 博信	
監 事	橋本 里見	
	鈴木 正人	
常 務 理 事	平野 雅弥	総 務
	結城 朋子	総 務
	潮田 陽一	財 務
	今出 克利	学 術
	八木沢英樹	編 集・情 報
	佐々木 健	公 益
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部
	大西 圭一	総 務・第二支部
	渡部 進一	総 務・第三支部
	齋藤 幸夫	総 務・第四支部
	矢崎 一郎	総 務・第五支部
	高嶋 豊	総 務・第六支部
	栗田 幸喜	学 術
	城處 洋輔	学 術
	岡田 智子	学 術
	清水 邦昭	編 集・情 報
	芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第 5 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 28 年 6 月 18 日（土）、仲町川鍋ビル 8 階会議室において会員 40 人出席、有効委任状提出 636 人、合計 676 人にて開催しました。総会では、平成 27 年度事業報告案、平成 27 年度決算報告案、平成 27 年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 7 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 05. 12	技師会事務所
2	28. 06. 02	技師会事務所
3	28. 07. 07	技師会事務所
4	28. 09. 01	技師会事務所
5	28. 11. 10	技師会事務所
6	29. 01. 05	技師会事務所
7	29. 03. 02	技師会事務所

ウ. 常務理事会は下記の通り 5 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 04. 04	技師会事務所
2	28. 08. 24	技師会事務所
3	28. 10. 06	技師会事務所
4	28. 12. 01	技師会事務所
5	29. 02. 02	技師会事務所

エ. その他

役員研修会、連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 02. 10	With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 04. 28	技師会事務所
2	28. 06. 30	技師会事務所
3	28. 10. 27	技師会事務所
4	29. 02. 23	技師会事務所

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 02. 23	技師会事務所

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 05. 14	大宮ソニックシティ
2	28. 11. 26	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りです。

委員会名	開催年月日
総務・財務委員会	29. 03. 02
総会運営委員会	28. 06. 18
編集・情報委員会	28. 04. 01
	28. 06. 08
	28. 09. 02
	28. 11. 16
	29. 02. 07
企画班委員会	28. 04. 27
	28. 07. 06
	28. 10. 05
	29. 01. 11
学術委員会	28. 04. 26
	28. 05. 31
	28. 07. 20
	28. 09. 06
	28. 12. 05
公益委員会	28. 07. 21
	28. 12. 06
	29. 02. 07
放射線特別授業運営委員会	公益委員会と合同

選挙管理委員会

	年月日	開催場所
1	28. 11. 15	技師会事務所

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	28. 11. 16	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	藤間 英雄
委員	小島 精一 渡辺 弘
	鈴木 正人 田中 宏
	堀江 好一 富田 博信
	平野 雅弥 結城 朋子

イ. 医療画像展実行委員会（秩父会場）

役職名	氏名
実行委員長	横田 文克
副実行委員長	齋藤 幸夫
実行委員	清水 浩和 萩原 貴之
	新井 偉生 大野 渉
	高井 太市 関根 茂夫
	吉田 真一 新井 孝史
	阿佐美裕史 三上 紀之

ウ. 医療画像展実行委員会（浦和区会場）

役職名	氏名
実行委員長	双木 邦博
実行委員	榎本 克希 福田 栞
	新堀 隆男 渡邊 真澄
	小野塚悠帆 金子 瑠平
	大小原 梢 中野 雄太
	森 一也 鈴木 友理
	西田 衣理 戸澤 僚太
	内藤 完大 井上 友貴
	工藤 政文 千代岡直家
	川島 慶太 八木沢英樹
	西牧 宏哲 安本 佳章

エ. 医療画像展実行委員会（川越会場）

役職名	氏名
実行委員長	渡部 進一
実行委員	吉岡 正樹 守谷 文貴
	佐藤 正康 佐藤 正彦
	森下 勝 中田 智仁
	中村 美紀 伊藤 麻美
	西村 明香

オ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 櫻井 均
	矢部 智 中嶋 幸孝
	金子 初穂
	眞壁 耕平

カ. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

役職名	氏名
実行委員長	齋藤 幸夫
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	新井 偉生 横田 文克
	高井 太市 大野 涉
	柏瀬 義倫 登坂 崇史
	坂本 里紗 小島 萌
	成田 麻美 浅見 有希
	長沼紗由美

コ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	芦葉 弘志
委員	志藤 正和 矢島 慧介
	市浦 京子 眞壁 耕平
	小山 恵 内海 将人
	西山 史朗

キ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 栗田 幸喜
	菅野 方仁 潮田 陽一
	宮崎 雄二 豊留 章裕
	吉田 敦 大友 哲也
	渡部 伸樹 堀越 隆之

ク. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	平野 雅弥
副委員長	結城 朋子 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
	双木 邦博 大西 圭一
	渡部 進一 齋藤 幸夫
	矢崎 一郎 高嶋 豊
	田中 達也 矢部 智
	佐々木 剛

ク. 企画班（編集・情報委員会）

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	大西 圭一 河原 剛
	館林 正樹 眞壁 耕平
	渡辺 嵩広

シ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	矢部 智
委員	榎本 克希 武田 義昭
	林 洋希 新井 偉生
	竹内 信行

ケ. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	栗田 幸喜 城處 洋輔
委員	岡田 智子
	尾形 智幸 大森 正司
	中根 淳 志田 智樹
	土田 拓治 近藤 敦之
	滝口 泰徳 伊藤 寿哉
	柴 俊幸 富田 博信
	佐々木 健 寺澤 和晶

ス. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	平野 雅弥 結城 朋子
	潮田 陽一 今出 克利
	八木沢英樹 佐々木 健

セ. 選挙管理委員会

役職名	氏名
委員長	尾形 智幸
委員	石田 貴志 近藤 忠晴
	清澤 真人 新井 偉生
	中嶋 幸孝

ソ.放射線特別授業運営委員会

役職名	氏名
委員長	芦葉 弘志
副委員長	佐々木 健
委員	工藤 安幸 内海 将人
	成田 麻美 矢島 慧介

タ.第31回埼玉県診療放射線技師学術大会実行委員会

役職名	氏名
大会長	田中 宏
実行委員長	今出 克利
副実行委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 芦葉 弘志
	平野 雅弥 栗田 幸喜
	田中 達也 矢部 智
	肥沼 武司 清水 邦昭
	城處 洋輔 渡邊 城大
	西山 史朗 渡部 進一
	土田 拓治 佐々木 健
	中根 淳 矢崎 一郎
	双木 邦博 齋藤 幸夫
	佐々木 剛 近藤 敦之
	矢島 慧介 寺澤 和晶
	柴 俊幸 大西 圭一
	高嶋 豊 滝口 泰徳
	伊藤 寿哉 眞壁 耕平
	尾形 智幸 岡田 智子
	志藤 正和 潮田 陽一
	八木沢英樹 内海 将人
	志田 智樹 大森 正司
	市浦 京子

(5)表彰

叙勲瑞宝双光章受賞(敬称略)
 佐々木 正夫
 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰(敬称略)
 清水 文孝
 保健衛生知事表彰(敬称略)
 矢部 智
 公衆衛生功労知事表彰(敬称略)
 千田 俊秀、長谷川 英治
 公衆衛生事業功労者(財)日本公衆衛生協会会長表彰(敬称略)
 小池 正行、栗田 幸喜
 (公社)日本診療放射線技師会表彰
 永年50年勤続者表彰 対象者なし
 永年30年勤続者表彰(6人、敬称略)
 上田 圭二、橋本 弘紀、松本 慎、吉沢 秀人

成田 政広、澁市 直紀、長谷川英治、山本 清孝、
 結城 朋子、小野 陽子、早瀬 学、鈴木 忠敏、
 諸澄 邦彦、神山 智行、宮澤 浩治
 (公社)埼玉県診療放射線技師会表彰
 永年40年勤続者表彰(2人、敬称略)
 田村 克年、岸野 洋一郎
 永年20年勤続者表彰(15人、敬称略)
 目崎 政昭、平賀 孝征、菅野 方仁、佐々木貴彦、
 西山 史朗、青木 良介、松田 繁尚、奥富 尚史、
 田中 克也、鈴木 英之、寺西 潤、森田 政則、
 野地 敦樹、肥沼 武司、新島 正浩

(6)物故者

藤井 憲司

(7)会員の動向(平成29年3月31日現在)

項目	会員数
平成27年度末 会員数	1,205人
平成28年度 新入会者数	66人
再入会者数	5人
転入者数	12人
転出者数	15人
退会者数	55人
平成28年度末 会員数	1,218人

(8)平成28年度賛助会員 23社(順不同)

シーメンスヘルスケア株式会社
 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 株式会社三田屋製作所
 株式会社日立製作所
 株式会社メディカル・サービス T&K
 コニカミノルタジャパン株式会社
 第一三共株式会社
 カイゲンファーマ株式会社
 富士フィルムメディカル株式会社
 日本メジフィジックス株式会社
 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
 株式会社ケーアイシーメディカルシステム
 バイエル薬品株式会社
 富士フィルム RIファーマ株式会社
 日本放射線防禦株式会社
 株式会社ドクターネット
 ケアストリームヘルス株式会社
 株式会社サイカンシステム
 ホスピタルサプライジャパン株式会社
 株式会社東日本メディカル
 高津メディカルシステムズ株式会社
 エーザイ株式会社

2. 学術教育活動報告

- (1) 第15回胸部認定講習会
 講師：佐々木 健、清水 達也、土田 拓治、
 滝口 泰徳、染野 智弘、柴 俊幸
 開催日時：平成28年12月4日(日)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：31人
- (2) 第16回上部消化管検査認定講習会
 講師：志田 智樹、遠藤亜矢子、工藤 安幸、
 永長 正樹、今出 克利、大森 正司、
 小田 文二
 開催日時：平成29年1月22日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：18人
- (3) 第3回CT認定講習会～入門編～
 講師：富田博信、中根淳、城處洋輔
 開催日時：平成28年8月29日(月)
 場所：浦和コミュニティセンター 第13集会室
 参加者：19人
- (4) 第3回取得者向けCT認定講習会
 講師：富田博信、中根淳、城處洋輔
 開催日時：平成28年8月29日(月)
 場所：浦和コミュニティセンター IT教室
 参加者：3人
- (5) 第8回CT認定講習会
 講師：富田 博信、八木沢英樹、染野 智弘、
 中根 淳、佐々木 健、志藤 正和、
 城處 洋輔、柴 俊幸、寺澤 和晶
 開催日時：平成29年1月22日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：28人
- (6) 平成28年度胸部・上部消化管・CT検査認定試験
 開催日時：平成29年2月5日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：胸部26人 上部消化管9人 CT12人
- (7) 平成28年度胸部認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：市浦 京子(上尾中央総合病院)
 南澤 奈月(上尾中央総合病院)
 山口 恵利(西大宮病院)
- (8) 平成28年度上部消化管検査認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：高橋 康昭(上尾中央総合病院)
 赤坂 未波(熊谷総合病院)
 安達 沙織(上尾中央総合病院)
- (9) 平成28年度CT認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：梅堀 貴史(熊谷総合病院)
 石田 隼斗(上尾中央総合病院)
 鈴木 友理(済生会川口総合病院)
- (10) MRI講習会
 講師：丸 武史、近藤 敦之、藤田 功
 開催日時：平成28年11月13日(日)
 場所：さいたま赤十字病院

- 参加者：28人
- (11) 第5回 Freed セミナー
 講師：濱川博招(株式会社ウイ・キャン)
 開催日時：平成29年3月25日(土)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：23人
- (12) DR計測セミナー
 講師：土田 拓治、滝口 泰徳、森 一也、
 大柿 護
 開催日時：平成29年2月26日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：18人
- (13) 基礎講習 乳房撮影
 講師：土田 拓治、新島 正美、田中 宏、
 岡田 智子
 開催日時：平成28年7月3日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：42人
- (14) 救急撮影ケーススタディー
 講師：金野 元樹、下林 義明
 開催日時：平成29年3月28日(火)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：22人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

- (1) 編集活動報告
 平成28年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第64巻244号から第65巻247号まで、計4回発刊致しました。第64巻244号では、学術特集MRI「拡散をもう一度振り返る」・寄稿「医療被ばく低減施設認定までの軌跡」。245号では、学術特集「fMRIによる脳機能計測：基礎と展望」。246号では、学術特集「一般撮影領域のDRL」「安全なMRI検査のために～検査前確認～」[「リニアックの基本構造」]。第65巻247号では「第31回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集」・学術特集「条件付きMRI対応デバイスの現状と動向」を掲載しました。また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。
- (2) 情報活動報告
 ア「会員向けHP」
 1) 学術案内(71件)
 2) 巻頭言(4件)246号まで
 3) 会誌(3件)242号まで
 4) お知らせ(32件)
 5) 学術データベース(0件)
 6) 平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会HP
- イ「一般向けHP」
 1) 「会誌・バックナンバー」242号まで
 2) 開催案内(1件)
- ウ「メールマガジン配信」
 1) 9件 No73～81まで
- (3) 企画班活動報告
 ア. 会誌企画

- 1) 会誌 2016 年 10 月 246 号
「学術特集」
・一般撮影領域の DRL
上尾中央総合病院 滝口 泰徳
・安全な MRI 検査のために～検査前確認～
イムス富士見総合病院 吉田 晋吾
・リニアックの基本構造
埼玉医科大学総合医療センター 畑中 星吾
「技術解説」
・医療における 3D プリンタの活用
丸紅情報システムズ株式会社

- 2) 会誌 2017 年 1 月 247 号
「学術特集」
・条件付き MRI 対応デバイスの現状と動向
埼玉医科大学国際医療センター 妹尾 大樹
- イ. 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会 企画
- 1) テクニカルディスカッション
「放射線治療装置ごとの IGRT を理解しよう」

4. 新春の集い

- 開催日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）19：00～21：00
会 場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」
参 加 者：会員 41 人、賛助会員 35 人、新入会員 13 人、
合計 89 人

5. 役員・委員研修会

- 開催日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）
場 所：With You さいたま埼玉県男女共同参画推進
センター セミナー室 1
参 加 者：19 人

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

7. 公益活動

- (1) 医療画像展（秩父市保健センターまつり）
開催日時：平成 28 年 6 月 5 日（日）10：00～14：00
場 所：秩父市保健センター
- (2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越
開催日時：平成 28 年 9 月 17 日（土）13：00～
18 日（日）13：00
場 所：川越市水上公園
- (3) 越谷市民祭り
開催日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）
場 所：越谷市役所庁舎内
- (4) 彩の国いきいきフェスティバル
開催日時：平成 28 年 10 月 30 日（土）
場 所：埼玉県県民活動総合センター
- (5) 医療画像展（深谷市福祉健康まつり）
開催日時：平成 28 年 10 月 30 日（日）10：00～15：00
場 所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
- (6) 浦和区健康まつり
開催日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）10：00～
場 所：浦和コミュニティセンター

- (7) ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 28 年 12 月 3 日（土）～12 月 4 日（日）
場 所：春日部市ふれあいキューブ
- (8) 第 30 回 川越市健康まつり
開催日時：平成 28 年 12 月 11 日（日）10：00～15：00
場 所：ウエスタ川越
- (9) 被ばく相談
①各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越にて
開催
②ホームページにて 2 件

8. 支部報告

第一支部

- | | | |
|------|-------|-------|
| 支部理事 | 双木 邦博 | |
| 監 事 | 宮澤 浩治 | |
| 役 員 | 八木沢英樹 | 三橋 則行 |
| | 佐藤 吉海 | 梶 功治 |
| | 土田 拓治 | 森 一也 |
| | 工藤 政文 | 千代岡直家 |
| | 鎌田 靖男 | 田村 智将 |
| | 大塚 忠義 | 川島 慶太 |
| | 酒井 利幸 | 北原 弘治 |

- (1) 第 1 回 支部勉強会
開催日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）19：00～
場 所：コムナーレ浦和 15 集会室
参加人数：46 人
内 容：
ア、メーカー最新技術講演
『Perfusion CT・MR の最新情報』
CT シーメンスヘルスケア 吉田博和
MR フィリップスヘルスケア 井上泰吉
イ、一般公演
『川口市立医療センターにおける心臓 MRI の紹介』
川口市立医療センター 千代岡直家
ウ、教育講演
『虚血性心疾患の画像診断』
日本大学病院循環器内科 鈴木 康之先生
- (2) 第 1 回 支部役員会
開催日時：平成 28 年 8 月 2 日（火）19：00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：9 人
- (3) 浦和区健康まつり
開催日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）10：00～
場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明
測定人数：373 人
- (4) 平成 28 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
開催日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13：00～18：00
場 所：森林公園四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
参加人数：157 人
内 容：

ア、支部合同症例検討会

「救急・時間外CTの基本症例

～技師から医師へのアプローチ～」

オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也
 上尾中央総合病院 金野 元樹
 コメンテーター 上尾中央総合病院 金野 元樹
 熊谷総合病院 吉田 敦
 座長 三愛病院 川島 慶太
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 小川赤十字病院 高井 太市
 越谷市立病院 関根 貢
 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和

- 1) 頭頸部内因性疾患 (第六支部)
指扇病院 安川 紘平
- 2) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)
済生会川口総合病院 鈴木 友里
- 3) 胸部内因性疾患 (第三支部)
埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃
- 4) 腹部内因性疾患 (第四支部)
熊谷総合病院 吉田 敦
- 5) 腹部内因性疾患 (第五支部)
独協医科大学越谷病院 天早 峻
- 6) 胸腹部外傷性疾患 (第二支部)
防衛医科大学校病院 高橋 敦

イ、技師講演「被ばく相談、やっていますか」

座長 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
 西大宮病院 豊留 章裕

- 1) 「被ばく相談に必要なコミュニケーション」
上尾中央総合病院 佐々木 健
- 2) 「相談者に合わせた被ばく相談対応事例」
済生会栗橋病院 内海 将人

ウ、特別講演

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン
 ～みんなのために！ひとりのために」
 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信

(5) 第2回 支部勉強会

開催日時：平成28年11月24日(木) 19:00～

場 所：コムナーレ浦和 15 集会室

参加人数：36人

内 容：

ア、メーカー講演 19:00～
 座長 済生会川口総合病院 土田 拓治
 「デジタルマンモグラフィ装置 Selenia Dimensions」
 ホロジックジャパン株式会社 矢田絵都子

イ、一般講演 19:20～
 座長 済生会川口総合病院 森 一也
 「当院の腰椎撮影条件の検討」

演者 済生会川口総合病院 戸澤 僚太

「英語発表ってどんなの？」

演者 済生会川口総合病院 志藤 正和

ウ、特別講演 20:00～

座長 済生会川口総合病院 森 一也

「治療用照射装置出力線量の第三者機関による測定を実施して」

演者 済生会川口総合病院 倉持 正樹

(6) 支部決算報告

開催日時：平成29年2月16日(木) 19:00～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：35人

内 容：28年度第一支部決算報告

第一支部理事 双木 邦博

(7) 第3回 支部勉強会

開催日時：平成28年2月16日(木) 19:10～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：35人

内 容：

ア、メーカー公演

「RSNA2016 報告～これからのCT開発における方向性～」

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 吉田 博和

イ、一般演題

「結核感染の対処と様々な結核画像」

さいたま市立病院 双木 邦博

ウ、「DRLを知り撮影線量最適化を図ろう！」

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員 済生会川口総合病院 志藤 正和

(8) 28年度第2回役員会

開催日時：平成29年3月17日(金) 19:00～

場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター

内 容：来年度計画について

(9) Dual-energy CT セミナー 2017

(第1,2,5,6 支部合同勉強会)

開催日時：平成29年3月18日(土) 10:30～

場 所：浦和コルソコミュニティプラザ

参加人数：112人

内 容：

ア、基礎講座

座長 埼玉医科大学総合医療センター 松澤 浩紀

「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」

東京慈恵会医科大学附属病院 樋口 壮典

イ、メーカー講演

座長 獨協医科大学越谷病院 渡邊 慎吾

「Dual Energy CTの現状と今後の展望」

東芝メディカルシステムズ 津島 総

シーメンスヘルスケア 松浦 孝俊

GEヘルスケア・ジャパン 中埜 泰暢

PHILIPS エレクトロニクス・ジャパン 守谷 芽実

ウ、技術セッション

座長 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

「Metal Artifact Reduction～評価法から臨床応用まで～」

埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔

埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

越谷市立病院 関根 貢

上尾中央総合病院 滝口 泰徳

エ、技術講演

座長 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
 「Dual Energy CT の画質評価と臨床応用」
 済生会川口総合病院 富田 博信

オ、特別講演

座長 済生会川口総合病院 富田 博信
 「次世代のCT技術を目指して～フォトンカウン
 ティング型X線CTと静止型データ収集SPECT
 ～」
 法政大学応用情報工学科教授 尾川 浩一先生

第二支部

会 長 (支部理事) 大西 圭一
 副会長・会計 柴 俊幸
 会 計 小田島明子
 監 事 園部 明彦
 肥沼 武司
 役 員 栗原 真 瀧澤 誠
 山下 隆行 矢幅 俊一
 近藤 忠晴 塩野谷 純
 小沢 利行 仲埜 智文
 協力員 武田 義昭 千葉 雅恭

(1) 第1回勉強会

日 時：平成28年4月28日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：23人
 内 容：
 ア、製品紹介
 「ITEM2016 最新 GEMR レポート」
 GEヘルスケア・ジャパン 坂口 裕一
 イ、一般研究発表
 「FPD搭載乳房用X線装置における空間分解能
 (SCTF) の評価」
 熊谷総合病院 亀山 枝里
 「RIS及びワイヤレスFPD搭載ポータブルX線装
 置の使用経験」
 三郷中央病院 長坂 純
 「局所励起技術と臨床応用について」
 GEヘルスケア・ジャパン 池田 陽介
 ウ、「CT ビギナーズセミナー ～スライス面内分解
 能～」
 座長 西狭山病院 小澤 昌則

- 1) 「総論 -スライス面内分解能とは-」
 越谷市立病院 関根 貢
- 2) 「焦点サイズと検出器サイズについて」
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
- 3) 「view数について」
 済生会川口総合病院 荻野 奈規
- 4) 「再構成関数、再構成FOVについて」
 上尾中央総合病院 館林 正樹

(2) 第2回勉強会

日 時：平成28年5月26日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：17人

内 容：

ア、製品紹介
 「ITEM2016 最新 GECT レポート」
 GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和
 イ、一般研究発表
 「胃X線検査におけるピロリ菌感染判定方法につ
 いて」
 大宮シテッククリニック 堀越 隆之
 「Bone Scan Whole body 撮像における %RMSU・
 FWHMによるスキャン速度の検討」
 埼玉県立循環器呼吸器病センター 山本 壮一
 「Gemstone Spectral Imaging (Dual Energy CT)
 の臨床応用について」
 GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和
 ウ、「乳腺の画像診断～MMGと病理～」
 座長 原田病院 瀧澤 誠
 講師 済生会川口総合病院 土田 拓治

(3) 第3回勉強会

日 時：平成28年6月23日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：47人
 内 容：

ア、製品紹介
 「富士フィルム一般撮影 最新画像処理のご紹介」
 富士フィルムメディカル株式会社 浅野 省二
 イ、一般研究発表
 「保育器収容低体重児に対するポータブル撮影時
 における撮影条件および被ばく線量の基礎検討」
 埼玉医科大学総合医療センター 鳥越 翔
 「3.0T-MRIにおける single shot T2WIの高分解能
 化についての基礎的検討」
 済生会川口総合病院 丸 武史
 「一般撮影の線量管理 最新状況」
 富士フィルムメディカル株式会社 MS部
 浅野 省二
 ウ、「研究のためのファントム作成について」
 座長 済生会川口総合病院 土田 拓治
 草加市立病院 佐藤 広崇

- 1) 「DR研究のためのファントム」
 北里大学メディカルセンター 今花 仁人
- 2) 「MMG研究のためのファントム」
 獨協医科大学越谷病院 高橋 利聡
- 3) 「CT研究のためのファントム」
 済生会川口総合病院 城處 洋輔
- 4) 「MRI研究のためのファントム」
 埼玉医科大学病院 荒木 智一

(4) 循環器CTセミナー2016(第2支部・バイエル薬品
 共催)

日 時：平成28年8月27日(土)
 場 所：浦和コロソコミュニティプラザ
 参加人数：262人
 内 容：
 ア、基礎講演「TECから考える造影CT検査の基礎」
 座長 三井記念病院 皆川 利浩

講師 さいたま赤十字病院 寺澤 和晶
 イ、ランチョンセミナー「心臓 CT 最新技術報告」
 座長 済生会川口総合病院 荻野 奈規
 講師

フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実
 シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ 天野 清香
 GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和

ウ、セッション I

座長 神奈川県立がんセンター 太田陽一郎
 「冠動脈 CT 教えます！～基本的な考え方から心電
 図・検査値まで～」

上尾中央総合病院 館林 正樹
 「心臓 CT 撮影タイミング補正の基礎と TBT 変法
 の臨床応用について」

深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
 「冠動脈 Subtraction CTA の臨床経験」

高瀬クリニック 高柳 知也

エ、セッション II

「大動脈弁閉鎖不全における心臓 CT の造影法につ
 いて」

座長 益子病院 蒲田 淳一

講師 順天堂大学医学部附属練馬病院 堂領 和彦
 オ、技術講演

「冠動脈 CT 検査と放射線被ばく ～発がんリスク
 の推定、そして最適化に向けて～」

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健

講師 金沢大学保健学系量子医療技術学講座准教授
 松原 孝祐

カ、特別講演

「循環器 CT の最近の進歩」

座長 石心会川崎幸病院 石田 和史

江戸川病院 佐藤 英幸

講師 慶應義塾大学医学部放射線科学教室主任教授
 陣崎 雅弘

(5) 第 4 回勉強会

日 時：平成 28 年 9 月 29 日 (木) 18:30 ~

場 所：国立障害者リハビリテーションセンター

参加人数：30 人

内 容：

ア、製品紹介

「シーメンスが取り組む Metal Artifact Reduction
 について」

シーメンス・ジャパン株式会社 松浦 孝俊

イ、「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1) 一般撮影

「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による臨床撮影」

座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄

講師 埼玉医科大学病院 仁藤 真吾

2) CT

「整形疾患から考える CT 撮影のポイント」

座長 上尾中央総合病院 金野 元樹

講師 越谷市立病院 村本 圭祐

3) MRI

「プロトコルを考える ～基礎からの腰椎 MRI～」

座長 済生会川口総合病院 丸 武史

演者 上尾中央総合病院 石川 応樹

(6) 第 5 回勉強会

日 時：平成 28 年 10 月 27 日 (木) 18:30 ~

場 所：国立障害者リハビリテーションセンター

参加者：43 人

内 容：

ア、第二支部セッション

「3 月稼働の Angio-CT 装置について ～ Angio/80
 列 CT/US の可能性～」

防衛医科大学校病院 野口 拓斗

「CT 用低コントラストファントムの作成」

国立障害者リハビリテーションセンター病院

肥沼 武司

「0 (ゼロ) から START ! Angio 稼働～稼働に向
 けた経験報告～」

イムス三芳総合病院 高田 博邦

イ、特別講演

「身体のみかんと画像診断～ルーティンのまま
 にそのままに僕は君だけを検査できない～」

座長 埼玉石心会病院 塩野谷 純

講師 西狭山病院 小澤 昌則

(7) 平成 28 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷

(第 1・2・3・4・5・6 支部合同勉強会)

日 時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 13:00 ~ 18:00

場 所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ

参加人数：157 人

内 容：

ア、「救急・時間外 CT の基本症例～技師から医師へ
 のアプローチ～」

オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也

上尾中央総合病院 金野 元樹

コメンテーター 上尾中央総合病院 金野 元樹

熊谷総合病院 吉田 敦

座長 三愛病院 川島 慶太

所沢ハートセンター 柴 俊幸

埼玉医科大学病院 吉岡 正樹

小川赤十字病院 高井 太市

越谷市立病院 関根 貢

彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和

1) 頭頸部内因性疾患 (第六支部)

指扇病院 安川 紘平

2) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)

埼玉県済生会川口総合病院 鈴木 友里

3) 胸部内因性疾患 (第三支部)

埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃

4) 腹部内因性疾患 (第四支部)

熊谷総合病院 吉田 敦

5) 腹部内因性疾患 (第五支部)

獨協医科大学越谷病院 天早 峻

6) 胸腹部外傷性疾患 (第二支部)

防衛医科大学校病院 高橋 敦

イ、技師講演

「被ばく相談、やっていますか」

座長 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
西大宮病院 豊留 章裕

1) 「被ばく相談に必要なコミュニケーション術」
上尾中央総合病院 佐々木 健

2) 「相談者に合わせた被ばく相談対応事例」
埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

ウ、特別講演

「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン
～みんなのために！ひとりのために！～」

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
講師 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信

(8) 骨軟部撮影セミナー 2017

(SART・TART 支部合同勉強会 骨軟部診断情報研究会共催)

日 時：平成 29 年 2 月 18 日 (土)

場 所：済生会川口総合病院 東館講堂

参加人数：152 人

内 容：

ア、一般演題

座長 東京大学医学部附属病院 田部井勝行
国立精神・神経医療研究センター病院 釋迦堂 充
「機能解剖を考える ～手関節～」

上尾中央総合病院 仲西 一真
「THA 術前計画における股関節 30 度内旋位 PA 撮影の検討」

さいたま赤十字病院 大河原侑司
「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」

済生会川口総合病院 西田 衣里
「ACS 患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」

所沢ハートセンター 柴 俊幸
「誰でも簡単スカイラインビューの実践」

堀ノ内病院 小池 正行
「Dual Energy CT を用いた乾癆性関節炎の画質評価」

東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾
イ、メーカーセッション

座長 上尾中央総合病院 滝口 泰徳

1) 「最新画像処理【ダイナミック処理について】」
富士フィルムメディカル株式会社 宮野 武晴

2) 「ワイヤレスフラットパネルを用いた四肢撮影への新しいアプローチ」

フィリップスエレクトロニクスジャパン
北中 康友

「キヤノンデジタルラジオグラフィ CXDI シリーズの紹介」

キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
伊藤 琢也

ウ、「撮影から考える(診る)疾患、疾患から考える撮影(読影や撮影の工夫・ポイント)」

座長 埼玉医科大学病院 高橋 忍
「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」

深谷赤十字病院 坂本 里紗

「技師として手疾患を撮る(診る)」

船橋市立医療センター 石塚 瞬一
エ、救急撮影セッション

「明日から実践！～救急撮影の基礎を学び、疑問を解消～」

座長 羽生総合病院 大野 渉
「外傷診療における救急撮影の基礎」

さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」

上尾中央総合病院 内田 瑛基
オ、DR セッション

座長 東海大学医学部附属八王子病院 由地良太郎
「臨床に適した画像処理選択の基本 ～四肢撮影を中心に～」

済生会川口総合病院 森 一也
「線量指標 EI の基礎知識 ～整形外科領域での活用法～」

獨協医科大学越谷病院 高橋 利聡
カ、教育講演

座長 埼玉医科大学病院 岡本 泰正
「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」

昭和大学歯科病院 石田 秀樹
「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」

関東労災病院 若林 一成
キ、特別講演

「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」

座長 JR 東京総合病院 後藤 太作
講師 埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生

(9) Dual Energy CT セミナー 2017

(第1・2・5・6 支部合同勉強会)

日 時：平成 29 年 3 月 18 日 (土)

場 所：浦和コロソコムユニティプラザ

参加人数：112 人

内 容：

ア、基礎講演

「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」
座長 埼玉医科大学総合医療センター 松澤 浩紀

講師 東京慈恵会医科大学附属病院 樋口 壮典
イ、メーカー講演

「Dual Energy CT の現状と今後の展望」
座長 獨協医科大学越谷病院 渡邊 慎吾

講師
フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実

シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
東芝メディカルシステムズ 津島 総

GEヘルスケア・ジャパン 中埜 泰暢
ウ、技術セッション

「Metal Artifact Reduction ～評価法から臨床応用まで～」

座長 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳
講師

埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔
埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

越谷市立病院 関根 貢
上尾中央総合病院 滝口 泰徳

エ、技術講演

「Dual EnergyCT の画質評価と臨床応用」

座長 済生会栗橋病院 内海 将人
講師 済生会川口総合病院 富田 博信

オ、特別講演

「次世代の CT 技術を目指して～フォトンカウンティング型 X 線 CT と静止型データ収集 SPECT～」

座長 済生会川口総合病院 富田 博信
講師 法政大学応用情報工学科教授
尾川 浩一 先生

第三支部

支部理事 渡部 進一
役員 吉岡 正樹 佐藤 正康
佐藤 正彦 森下 勝
中田 智仁
会計幹事 守谷 文貴
会計監査 今井 昇

(1) 第 1 回 第三支部勉強会

ア. 開催日時：平成 28 年 6 月 17 日 (金) 19:00～21:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 1

ウ. 参加人数：44 人

エ. 内 容：技師講演

(ア) 「苦手を克服！肘関節 MRI の撮像方法」

埼玉医科大学病院 荒木 美和

「MRI 認定における性能評価の解析方法について (Image)」

埼玉医科大学病院 栗田 京助

(イ) 特別講演

「職能団体における政治の役割」

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏
副会長 富田 博信

(2) 第 1 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 6 月 17 日 (金) 18:30～19:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 1

ウ. 参加人数：7 人

エ. 内 容：川越健康まつり、納涼会、BLS 講習、ホームページ作成など

(3) 第 30 回 川越市健康まつり 第 1 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 7 月 21 日 (木) 13:30～15:00

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：20 人

エ. 内 容：開催場所、タイムスケジュールなど

(4) 第三地区 納涼会

ア. 開催日時：平成 28 年 7 月 23 日 (土) 19:30～21:30

イ. 開催会場：甘太郎 川越店

ウ. 参加人数：37 人

エ. 内 容：会員の親睦を深める

(5) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越

リーダー会議

ア. 開催日時：平成 28 年 8 月 20 日 (土) 18:00～20:00

イ. 開催会場：小江戸蔵里ギャラリー

ウ. 参加人数：2 人 (公益、支部)

エ. 内 容：リレー・フォー・ライフ チーム説明会

(6) 第 2 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 6 日 (火) 19:00～20:00

イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR 棟 技師室

ウ. 参加人数：6 人

エ. 内 容：リレー・フォー・ライフ担当、ボウリング大会、支部合同勉強会、川越市健康まつり BLS 講習の協力など

(7) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 17 日 (土) 13:00～18 日 (日) 13:00

イ. 開催会場：川越市水上公園

ウ. 参加人数：35 人 (第三地区会員)

エ. 内 容：ボランティア協力

(8) 第 30 回 川越市健康まつり 第 2 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 30 日 (金) 13:30～15:00

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：25 人

エ. 内 容：開催内容説明、タイムスケジュール、前日準備事項など

(9) 第三地区ボウリング大会

ア. 開催日時：平成 28 年 10 月 7 日 (金) 19:00～20:30

イ. 開催会場：川越ボウリングセンター

ウ. 参加人数：28 人

エ. 内 容：会員の親睦を深める

(10) 第 3 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 7 日 (金) 20:30～21:00

イ. 開催会場：川越ボウリングセンター内 会議室

ウ. 参加人数：5 人

エ. 内 容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会 川越市健康まつり、BLS 講習会、新春の集いについて

(11) 第 30 回 川越市健康まつり 第 3 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 8 日 (火) 13:15～14:30

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：23 人

エ. 内 容：開催内容確認、前日準備及び当日の注意事項など

(12) 支部合同勉強会催

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 13:00～

イ. 開催会場：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉

ウ. 参加人数：157 人

エ. 内 容：支部発表 (症例検討)、技師講演 (被ばく相談)、特別講演、懇親会

(13) 救急セミナー (第三支部共催)

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 16 日 (水) 19:00～20:30

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 3

ウ. 参加人数：14 人 (受講者)

エ. 内 容：一次救命処置 (CPR,AED) の習得

(14) 第 4 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 12 月 9 日 (金) 19:00～20:00

イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR 棟 技師室

- ウ. 参加人数：6人
- エ. 内 容：川越市健康まつり、新年会、勉強会、地区定期総会など
- (15) 第30回 川越市健康まつり
 - ア. 開催日時：平成28年12月11日(日) 10:00～15:00
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越
 - ウ. 参加人数：9人(地区会員含む)
 - 来場者約：約350人(医用画像展)
 - エ. 内 容：医療画像展の開催
- (16) 第三地区新年会
 - ア. 開催日時：平成29年1月28日(土) 19:00～21:00
 - イ. 開催会場：函館海や(川越店)
 - ウ. 参加人数：30人
 - エ. 内 容：会員の親睦を深める
- (17) 第5回 第三地区役員会
 - ア. 開催日時：平成29年2月20日(月) 19:00～20:00
 - イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR棟 技師室
 - ウ. 参加人数：6人
 - エ. 内 容：平成29年度事業計画、地区総会について
- (18) 平成28年度 第三支部・地区定期総会
 - ア. 開催日時：平成29年3月17日(金) 19:00～19:30
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室
 - ウ. 参加人数：23人
 - (委任状提出 150人：議長一任 150人)
 - 本総会出席23人と委任状数150人、合計が173人となり第三支部会員数240人の過半数を超えており、第三地区会則第9条により本総会は成立。
 - エ. 内容：定期総会審議事項
- 審議-1：平成28年度事業報告__審議結果：承認
- 審議-2：平成28年度決算報告__審議結果：承認
- 審議-3：平成29年度事業計画案__審議結果：承認
- (ア) 勉強会
 - 1) 第1回勉強会：平成29年6月予定
 - 2) 第2回勉強会(支部合同)：平成29年11月予定
 - 3) 第3回勉強会：平成30年3月予定
- (イ) 親睦会行事
 - 1) 納涼会：平成29年7月予定
 - 2) ボウリング大会：平成29年10月予定
 - 3) 新年会：平成30年1月予定
- (ウ) 公益
 - 1) リレーフォーライフ川越：平成29年9月予定
 - 2) 川越市健康まつり：平成29年10月29日予定
- (エ) 役員会・定時総会
 - 1) 第1回役員会 平成29年 6月
 - 2) 第2回役員会 平成29年 9月
 - 3) 第3回役員会 平成29年 12月
 - 4) 第4回役員会 平成29年 3月
 - 5) 第三支部勉強会・定時総会 平成30年 3月
- 審議-4：平成29年度予算案について__審議結果：承認
- 審議-5：平成29年度役員改選__審議結果：承認
- ・代表幹事：山岸 正和
(埼玉医科大学国際医療センター)
- ・副代表幹事：森下 勝
(埼玉医科大学国際医療センター)

- ・会計幹事：中田 智仁
(埼玉医科大学国際医療センター)
- ・会計監査：今井 昇(旭ヶ丘病院)
- ・幹 事：佐藤 正彦
(埼玉医科大学総合医療センター)
- ・幹 事：轟 圭介
(埼玉医科大学総合医療センター)
- ・幹 事：市川 隆史(埼玉医科大学病院)
- ・幹 事：橋本利恵子(埼玉医科大学病院)
- (19) 第3回 第三支部勉強会
 - ア. 開催日時：平成29年3月17日(金) 19:30～21:00
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室
 - ウ. 参加人数：28人
 - エ. 内 容：
 - (ア) メーカー講演
「タブレット端末の導入と病院全体の情報共有強化」～メッセージングがコミュニケーションを変える今企業のコミュニケーション変革とは～
菱洋エレクトロ株式会社 ICT 営業第二本部 マーケティング部 志村 幸洋
 - (イ) 特別講演
「DRLを知り撮影線量最適化を図ろう！」
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 放射線技術科主任
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 常務理事(公益) 佐々木 健

第四支部

- 会 長(支部理事) 齋藤 幸夫
- 副会長 清水 浩和
- 会 計 大野 渉
- 役 員 萩原 貴之 新井 偉生
横田 文克 高井 太市
- 監 事 山田 伸司 関根 茂夫
- (1) 第1回 支部役員会
 - 日 時：平成28年4月14日(木) 18:30～19:30
 - 場 所：深谷赤十字病院
 - 参加者：6人
- (2) 第1回 支部勉強会
 - 日 時：平成28年5月26日(木) 18:30～20:30
 - 場 所：さくらめいと 第1会議室
 - 講義内容：
 - 「CT・MRI造影剤の種類による違いと診療報酬改定のポイント」
富士製薬工業株式会社 営業部 関東第二支店第二営業所 土本 泰広
 - 「新人教育」
深谷赤十字病院 放射線科部 齋藤 幸夫
 - 「ディズニーに学ぶ患者接遇」
さいたま赤十字病院 放射線科部 大河原侑司
 - 参加者：46人
- (3) 第2回 支部役員会
 - 日 時：平成28年5月26日(木) 20:30～21:00
 - 場 所：さくらめいと 第1会議室

参加者：7人
 (4) 医療画像展 (秩父市保健センターまつり)
 日時：平成28年6月5日(日) 10:00～14:00
 場所：秩父市保健センター
 内容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣り
 等

実行委員：12人
 骨密度測定：400人
 パネル展示：100人
 スーパーボール釣り：220人
 被ばく相談：4人

(5) 平成28年度 第四支部 納涼会
 日時：平成28年7月29日(金) 19:00～
 場所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町 2-95
 参加者：59人

(6) 第2回 支部勉強会
 日時：平成28年9月15日(木) 18:30～21:00
 場所：さくらめいと 第1会議室

講義内容：
 頭部領域 MRI について
 座長 小川赤十字病院 山田 伸司
 第1部「施設紹介、頭部ルーチン撮像法」
 熊谷総合病院 吉田 敦
 羽生総合病院 鯨井 昇
 深谷赤十字病院 富田 欣治
 小川赤十字病院 高井 太市
 第2部「症例検討」
 脳出血のMRI ～脳内出血の継時的変化～
 熊谷総合病院 吉田 敦
 脳梗塞のMRI ～急性期脳梗塞を中心とした症例～
 羽生総合病院 鯨井 昇
 脳腫瘍のMRI ～髄膜腫と下垂体腺腫を中心に～
 深谷赤十字病院 富田 欣治
 認知症のMRI ～VSRADについて～
 小川赤十字病院 高井 太市

参加者：56人
 (7) 第3回 支部役員会
 日時：平成28年9月15日(木) 21:00～21:30
 場所：さくらめいと 第1会議室
 参加者：7人

(8) 医療画像展 (深谷市福祉健康まつり)
 日時：平成28年10月30日(日) 10:00～15:00
 場所：深谷ピクチャー・深谷市総合体育館
 内容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣
 り等

実行委員：13人
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：450人
 スーパーボール釣り：200人
 被ばく相談：0人

(9) 地域医療連携講演会の開催について
 日時：平成28年11月8日(火) 19:00～
 場所：深谷赤十字病院 1F 多目的ホール
 内容：開会挨拶：深谷寄居医師会
 地域医療担当理事 飯塚 勇 先生

座長：深谷赤十字病院 院長 伊藤 博 先生
 特別講演：『放射線治療のあれこれ』
 深谷赤十字病院 放射線治療科部長
 楮本 智子 先生
 閉会挨拶：深谷寄居医師会 会長
 緒方 伸男 先生

参加者：102人
 (10) 支部合同勉強会 in 熊谷
 日時：平成28年11月12日(土)
 場所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテイジ
 講演内容：

開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一
 壱. 支部合同症例検討会
 コメンテーター
 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和

支部座長
 第一支部 三愛病院 川島 慶太
 第二支部 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 第三支部 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 第四支部 小川赤十字病院 高井 太市
 第五支部 越谷市立病院 関根 貢
 第六支部 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和

「救急・時間外 CT 基本症例～技師から医師へのア
 プローチ～」
 第一支部 済生会川口総合病院 鈴木 友理
 第二支部 防衛医科大学校病院 高橋 敦
 第三支部 埼玉医科大学国際医療センター
 田島 秀晃

第四支部 熊谷総合病院 吉田 敦
 第五支部 獨協医科大学越谷病院 天早 峻
 第六支部 指扇病院 安川 紘平

式. 技師講演
 座長 西大宮病院 豊留 章裕
 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

「被ばく相談、やっていますか」
 壱、被ばく相談に必要なコミュニケーション術
 上尾中央総合病院 佐々木 健
 式、相談者に合わせた被ばく相談対応事例
 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
 参、質問コーナー・ディスカッション
 参. 特別講演

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョ
 ン～みんなのために！ひとりのために！～」
 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 副会長 富田 博信
 閉会挨拶 第一支部理事 双木 邦博
 合同勉強会懇親会 司会進行 渡部 進一

参加者：157人
 (11) 医療画像展 (行田市健康フォーラム 2016)
 日時：平成28年11月13日(日)
 場所：行田市「みらい」ホール
 内容：支部合同勉強会 in 熊谷と日程が重なった為中止
 (12) 平成28年度 第四支部 忘年会

日 時：平成 28 年 11 月 25 日（金）19：00～

場 所：マロウドイン熊谷

参加者：78 人

(13) 第 3 回 支部勉強会

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）18：30～21：00

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

講演内容：「シーメンス CT 最新情報」

シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊

「夜勤帯に撮像した CT 症例報告 Vol 3」

羽生総合病院 岡田 拓司

「Ai (Autopsy Imaging：死亡時画像診断) の基礎」

羽生総合病院 大野 渉

参加者：51 人

(14) 第 4 回 支部役員会

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）21：00～21：30

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

参加者：7 人

(15) 平成 28 年度 第四支部 監査会

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）19：00～

場 所：熊谷総合病院

参加者：9 人

(16) 第 4 回支部勉強会・平成 28 年度第四支部総会

日 時：平成 29 年 3 月 23 日（木）18：50～20：00

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

講演内容：DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員

上尾中央総合病院 矢島 慧介

定期総会

参加者：48 人

(17) 長谷川英治氏公衆衛生功労知事表彰祝賀会

日 時：平成 29 年 3 月 25 日（土）18：00～

場 所：熊谷市銀座 1-64 マロウドイン熊谷「飛天」

参加者：91 人

第五支部

支部理事 矢崎 一郎

支部役員

鈴木 孝 中村 禎二

中村 正之 岩井 悠二

矢部 智 西山 史朗

金子 初穂 中嶋 幸孝

眞壁 耕平 矢作 悠馬

長坂 純

(1) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 4 月 21 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：一般撮影 FPD の最新動向と最新画像処理
フジフィルムメディカル株式会社

(2) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 5 月 19 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：「ITEM2016 報告会フィリップス最新情報の
アップデート」
株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン

(3) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①心臓 CT 検査の基礎構築 (Aquilion PRIME の使用
経験)

草加市立病院 放射線科 町永 努

②シーケンスチャートと傾斜磁場の基礎

草加市立病院 放射線科 加藤 広一

③当院における放射線治療の現状と今後

草加市立病院 放射線科 鈴木 健太

(4) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 7 月 28 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：「X 線装置の歴史と最新技術紹介」

島津メディカルシステムズ (株)

(5) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 8 月 24 日（水）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①一般撮影基礎の基礎

～困ったときの対処法から読影の初歩について～

越谷市立病院 國井 琢矢

②当院におけるマンモグラフィ検査の運用

越谷市立病院 武村 香澄

③乳腺 MRI の基礎

(6) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 9 月 29 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①乳腺検査における CT の役割

獨協医科大学越谷病院 中土 愛梨

②デジタル乳腺トモシンセシス (DBT) の有用性について

獨協医科大学越谷病院 小松崎 亜実

③乳腺 MRI のルーチン検査と追加撮像

獨協医科大学越谷病院 遠藤 駿登

(7) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①コロンフォートのご紹介

伏見製薬株式会社 窪内 大将

②当院における大腸 CT 検査の流れ

三郷中央総合病院 放射線技術科 寺島 幸

③コロンフォートにおける前処置の検討

三郷中央総合病院 放射線技術科 市村 孝幸

(8) 越谷市民祭り

開催日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）

場 所：越谷市役所庁舎内

(9) ふれあいキューブフェスティバル

開催日時：平成 28 年 12 月 3 日（土）

12 月 4 日（日）

場 所：春日部市ふれあいキューブ

(10) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 12 月 15 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 内 容：DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！
 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
 放射線技術科主任
 佐々木 健

(11) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 29 年 1 月 26 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 内 容：①当院における症例検討会の取り組み
 済生会栗橋病院 放射線技術科 渡邊 城大
 ②症例：一般撮影
 済生会栗橋病院 放射線技術科 脇谷 正行
 ③症例：CT
 済生会栗橋病院 放射線技術科 櫻井 均

(12) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 29 年 2 月 23 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 1 膠原病と RA における一般撮影の役割
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 佐藤 史佳
 2 当院における頸部 CTA の撮影法と MPR 分解能について
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 石川 春菜
 3 MRI 撮像の実践 (ポジショニングから撮像条件まで)
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 佐藤 広崇

(13) 支部情報交換会

開催日時：平成 29 年 3 月 23 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 1：最新の機器紹介 シーメンス・ヘルステア株式会社
 2：当院における心臓造影 CT の撮影方法と画像解析について
 新久喜総合病院 放射線科 斎藤 俊樹
 3：虚血性心疾患における心筋血流シンチグラフィの役割
 新久喜総合病院 放射線科 添田 拓哉

第六支部

会 長 (支部理事) 高嶋 豊
 副会長 山口 明
 監 事 濱守 誠 尾形 智幸
 学 術 茂木 雅和 木村 浩明
 安川 紘平 春日 沙織
 仲西 一真
 広 報 仙波 亮 藤巻 武義
 編 集 辻村明日香
 総 務 竹内 信行 秋谷 龍一郎
 倉内 克憲
 会 計 徳田 光希 (山口 明)

(1) 支部役員会

開催日時：平成 28 年 4 月 7 日 (木)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：13 人

(2) 関東甲信越学術大会

開催日時：平成 28 年 5 月 14、15 日 (土、日)

場 所：大宮ソニックシティ

第六支部演題発表

第六支部学術担当：彩の国東大宮メディカルセンター

茂木 雅和

(3) 平成 28 年 第六支部第一回定期講習会

開催日時：平成 28 年 6 月 9 日 (木) 19:00 ~

場 所：彩の国東大宮メディカルセンター

内 容：

ア、『MRI 膝関節について』

講師：埼玉医科大学病院 高橋 忍

イ、『職能団体における政治の役割について』

講師：埼玉県庁病院局 田中 宏

講師：埼玉県済生会川口総合病院

富田 博信

ウ、『施設見学』

講師：東大宮メディカルセンター放射線科スタッフ

参 加 者：47 人

(4) 第六支部納涼会

開催日時：平成 28 年 7 月 14 日 (木)

場 所：Dinning Café MARINA

参 加 者：32 人

(5) 支部役員会

開催日時：平成 28 年 8 月 30 日 (火)

場 所：さいたま赤十字病院

参 加 者：12 人

(6) 平成 28 年度 第六支部第二回定期講習会

開催日時：平成 28 年 10 月 20 日 (木) 19:00 ~

場 所：JCHO さいたま北部医療センター

内 容：

ア、『CT による急性期疾患の特徴』

講 師：西大宮病院 豊留 章裕

講 師：白岡中央総合病院 石田 仁子

講 師：指扇病院 石川 直哉

イ、『症例検討、ディスカッション』

講 師：埼玉石心会病院 諸田 智章

講 師：さいたま赤十字病院 小此木 俊

講 師：上尾中央総合病院 内田 瑛基

参 加 者：61 人

(7) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 28 年 10 月 30 日 (日)

場 所：埼玉県民活動総合センター

~放射線展~パネル展示

被ばく相談 6 人 骨密度測定 211 人

実行委員：11 人

(8) 支部合同勉強会 (1.2.3.4.5.6 支部)

開催日時：11 月 12 日 (土)

場 所：ホテルヘリテイジ熊谷

参 加 者：157 人

(9) 忘年会

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日 (木) 19:00 ~

場 所：KICHIRI

参 加 者：37 人

(10) 支部役員会

- 開催日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：13 人
- (11) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会及び第六支部第 3 回定期講習会
 開催日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）19：00～
 場 所：指扇病院
 内 容：
 ①定期総会
 ②第六支部第 3 回定期講習会
 『骨盤部 MRI 検査の基礎』
 ア、子宮卵巣 MRI
 講 師：上尾中央総合病院 渋江 美美香
 イ、骨盤部 MRI
 講 師：埼玉県立がんセンター 山内 辰雄
 参加者：47 人

- イ、第 49 回 埼玉消化管撮影研究会
 講 師：山下誠司、浅見純一、重松綾、今出克利
 開催日時：平成 28 年 11 月 24 日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院 第 3 会議室
 参 加 者：33 人
- ウ、第 50 回 埼玉消化管撮影研究会
 講 師：小田丈二、今出克利、大森正司
 開催日時：平成 29 年 1 月 22 日（日）
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール
 参 加 者：34 人

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

- ア、画像の向こうの患者を診よう
- 1) 第 51 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 4 月 19 日
 参加者：40 人
 - 2) 52 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 5 月 17 日
 参加者：27 人
 - 3) 第 53 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 6 月 21 日
 参加者：51 人
 - 4) 第 54 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 7 月 19 日
 参加者：33 人
 - 5) 第 55 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 8 月 23 日
 参加者：23 人
 - 6) 第 56 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 9 月 20 日
 参加者：13 人
 - 7) 第 57 回 症例検討会
 開催日時：平成 28 年 10 月 25 日
 参加者：20 人
 - 8) 第 58 回 症例検討会
 開催日時：平成 29 年 2 月 21 日
 参加者：28 人
 - 9) 第 59 回 症例検討会
 開催日時：平成 29 年 3 月 28 日
 参加者：19 人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

- ア、第 48 回 埼玉消化管撮影研究会
 講 師：鈴木紫方、志田智樹、池田圭介、大森正司
 開催日時：平成 28 年 7 月 8 日（金）
 場 所：さいたま赤十字病院 5F 講堂
 参 加 者：45 人

平成 28 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 平成 28 年度表彰者について審議し承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
2. 平成 28 年度 CT 入門編および取得者向け講習開催について審議し承認した。（議案書番号：理-2）（承認）
3. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-3）（承認）
4. 平成 27 年度埼玉県診療放射線技師会決算について審議し承認した。（議案書番号：理-4）（承認）
5. 深谷市福祉健康まつりへの参画について予算および骨密度装置、パネル等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-5）（承認）
6. 浦和区健康まつりへの参画について予算および骨密度装置、のぼり等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-6）（承認）
7. 第 30 回川越市健康まつりへの参画における予算について審議し承認した。（議案書番号：理-7）（承認）
8. 平成 27 年度事業報告について審議し承認した。（議案書番号：理-8）（承認）
9. 平成 28 年度学術大会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-9）（承認）
10. 第 15 回胸部認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-10）（承認）
11. 救急撮影ケーススタディー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
12. 平成 28 年度 MRI 基礎講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
13. 第 3 回 DR セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-13）（承認）
14. 第 8 回 CT 認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-14）（承認）
15. 平成 28 年度第 16 回上部消化管検査認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-15）（承認）
16. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-16）（承認）
17. 会員施設への骨密度装置およびパネル、のぼり等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-17）（承認）
18. 第 3 回救急セミナー（第 3 支部合同）開催について審議し承認した。（議案書番号：理-18）（承認）
19. 第 42 回越谷市民祭りへの参画における予算およびパネル等の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-19）（承認）
20. リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越の参加における予算案の変更について審議し承認した。（議案書番号：理-20）（承認）
21. 当会事業におけるデータ通信機器の購入について審議し承認した。（議案書番号：理-21）（承認）
22. 第 35 回日本診療放射線技師学術大会における埼玉開催について審議し承認した。（議案書番号：理-22）（承認）
23. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-23）（承認）
24. 事務所コピー機の更新について審議し承認した。（議案書番号：理-24）（承認）
25. 彩の国いきいきフェスティバル参画に際し予算およびのぼり貸出、骨密度装置レンタル使用について審議し承認した。（議案書番号：理-25）（承認）
26. 超音波式骨密度測定装置貸出規約の改定について審議し承認した。（議案書番号：理-26）（承認）
27. シンチレーションサーベイメータの購入について審議し承認した。（議案書番号：理-27）（承認）
28. 平成 28 年度 Freed セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-28）（承認）
29. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-29）（承認）
30. 平成 29 年役員選挙における選挙管理委員の選任について審議し承認した。（議案書番号：理-30）（承認）
31. 第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催日時について審議し承認した。（議案書番号：理-31）（承認）
32. 「ほぼら春日部」オープン 5 周年記念イベント参画に際し、医用画像展開催のための予算および展示パネルの貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-32）（承認）
33. 新入会員について審議し承認した。（議案書番号：理-33）（承認）

34. 浦和区健康まつり参加に当たり予算額を大幅に超えたため、当初予算額の変更と追加補助の申請について審議し承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
35. 佐々木正夫会員を名誉会員として承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
36. 平成 29 年度表彰者（公衆衛生功労知事表彰 2 名、公衆衛生功労協会会長表彰 2 名、埼玉県知事表彰 1 名、公衆衛生功労厚生労働大臣表彰 1 名、平成 30 年春叙勲候補者 1 名）推薦について審議し承認した。(議案書番号：理-36) (承認)
37. 第 20 回秩父市保健センターまつりに参画し医用画像展を開催するに当たり、予算案の承認および骨密度測定装置、展示パネル等の貸出について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 新入会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 平成 29 年度事業計画案について資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-39) (承認)
40. フレッシュアップセミナー（第 19 回 SART セミナー）開催について審議し承認した。(議案書番号：理-40) (承認)
41. 小川清前会長を平成 29、30 年度相談役として推薦することについて、審議し承認した。(議案書番号：理-41) (承認)
42. 平成 29 年度埼玉県診療放射線技師会収支予算について資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-42) (承認)
43. 新入会員について審議し承認した。(議案書番号：理-43) (承認)

平成 29 年度事業計画 県民へのアピール

本会の設立目的として、定款第3条に「この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。」とある。本会が学術活動や出版事業等を行う目的は、会員非会員を問わず、埼玉県内の診療放射線技師の資質の向上により、質の高い医療技術を広く県民へ還元することが目的である。

本会では、数多くのセミナーや勉強会を企画している。また健康祭りへの参加や公立学校における放射線教育の担務など、県民向けの企画を数多く行っている。これら本会が企画開催する公益事業に参加いただいた県民のみならず、広く県民に本会活動を知っていただくためにアピールすることも本会の役割と考えている。これまで私たちがアピールを行ってきた相手方は、診療放射線技師の同じ仲間であったり、企業など放射線関係団体、そして医療における他職種が主であった。しかし、公益法人である職能団体は、本来県民のための活動を目的とした団体であり、これまで行ってきたアピールは手段であり目的ではない。

町では、商工会や法人会、青年会議所など、多数の公益団体が活動を行っているが、多くは行政

と関わりながら事業を進めている。それは、行政は住民全ての生活に最も関わっている公共団体からである。健康祭りなどを技師会独自で開催するのは広報などアピール力に限界がある。だからこそ行政と協同で開催することは、県民に対する公益事業としても十分に意味のあることである。

アピールする内容は、本会の存在はもちろんのこと、その活動実績、そして具体的にどのような公益事業ができるのか常に示す必要がある。そして示す相手先は行政だけではなく、行政と密接な関わりを持つ市民団体へのアピールも必要であると考えている。

市町村で開催する健康祭りへの参画は、本会の公益事業の重要な柱であり、同時に行政や市民団体への重要なアピールの場でもある。これらの事業を、昨年は県議会と行政に本会公益事業としてのアピールを行い、非常に高い評価を得ることができた。これも会員の方々の日頃の実績があるからこそアピールできたことはいままでもない。

平成 29 年度は、組織でのアピールはもちろんのこと、個々の役員もできる範囲でのアピールを行っていきたいと考えている。

1. 職業人としての質の向上

- (1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会
 - イ. 胸部撮影認定講習会
 - ウ. 上部消化管検査認定講習会
 - エ. フレッシュアップセミナー (SART セミナー)
 - オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー (医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - カ. CT 認定講習会
 - キ. MRI 基礎講習会
 - ク. 乳腺セミナー
 - ケ. DR 計測セミナー
 - コ. 救急撮影ケーススタディー (日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - サ. 読影力向上のための講習会 (支部開催セミナー)
 - シ. 業務拡大に伴う統一講習会
- (2) 会員講師の育成と体制づくり
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
 - カ. 各認定機構との合同企画 (埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 公立学校における放射線教育の担務
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業

4. 編集・情報

- (1) 本会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会等の開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 15名以上20名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

2 相談役は、次の職務を行う。

(1) 会長の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

3 相談役を選任及び解任は、理事会において決議する。

4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招集)

- 第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。
- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決議)

- 第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計**(事業年度)**

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支部

(支部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000円
賛助会員（個人）	年額 9,000円
賛助会員（法人）	年額 25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程 (本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会主催の講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期刊行物又は書籍の原稿を執筆したときは、1000字まで3,000円、それ以後1000字毎に1,000円を限度として執筆謝金を支払うことができる。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 会員以外の者が本会の発行する定期刊行物若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師会または診療エックス線技師会を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という。）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼

及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、

当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条（1）の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

（1）本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

（2）本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

（3）メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

（4）本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割

引料金を参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理 事

(2) 監 事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関する事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (1) 学術奨励賞 若干名
- (2) 学術新人賞 若干名

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線

技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

（定義）

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

（設置申請）

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

（承認基準）

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- （1）学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- （2）当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- （3）本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

（解散及び廃止）

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

（名称）

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

（活動）

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- （1）研究会を開催する
- （2）研究成果を学術大会等に発表する

（報告）

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

（助成）

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

（会議室の利用）

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- （1）理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- （2）本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- （3）その他、会長が特に認めた会議、講習会等

（使用手続）

第6条 前条のうち（1）に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

（使用の優先）

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

- | | |
|-----------------|--------|
| (1) 09:00～12:00 | 2,000円 |
| (2) 13:00～17:00 | 2,000円 |
| (3) 18:00～21:00 | 2,000円 |
| (4) 09:00～17:00 | 4,000円 |
| (5) 13:00～21:00 | 4,000円 |
| (6) 09:00～21:00 | 5,000円 |

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

互助給付金申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事 印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生日月
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 平成 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
<small>事情により本人が申請できない場合、ご署名下さい。</small>	
続柄	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 () ※該当する申請理由に○をつけて下さい。
休業期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容 (具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

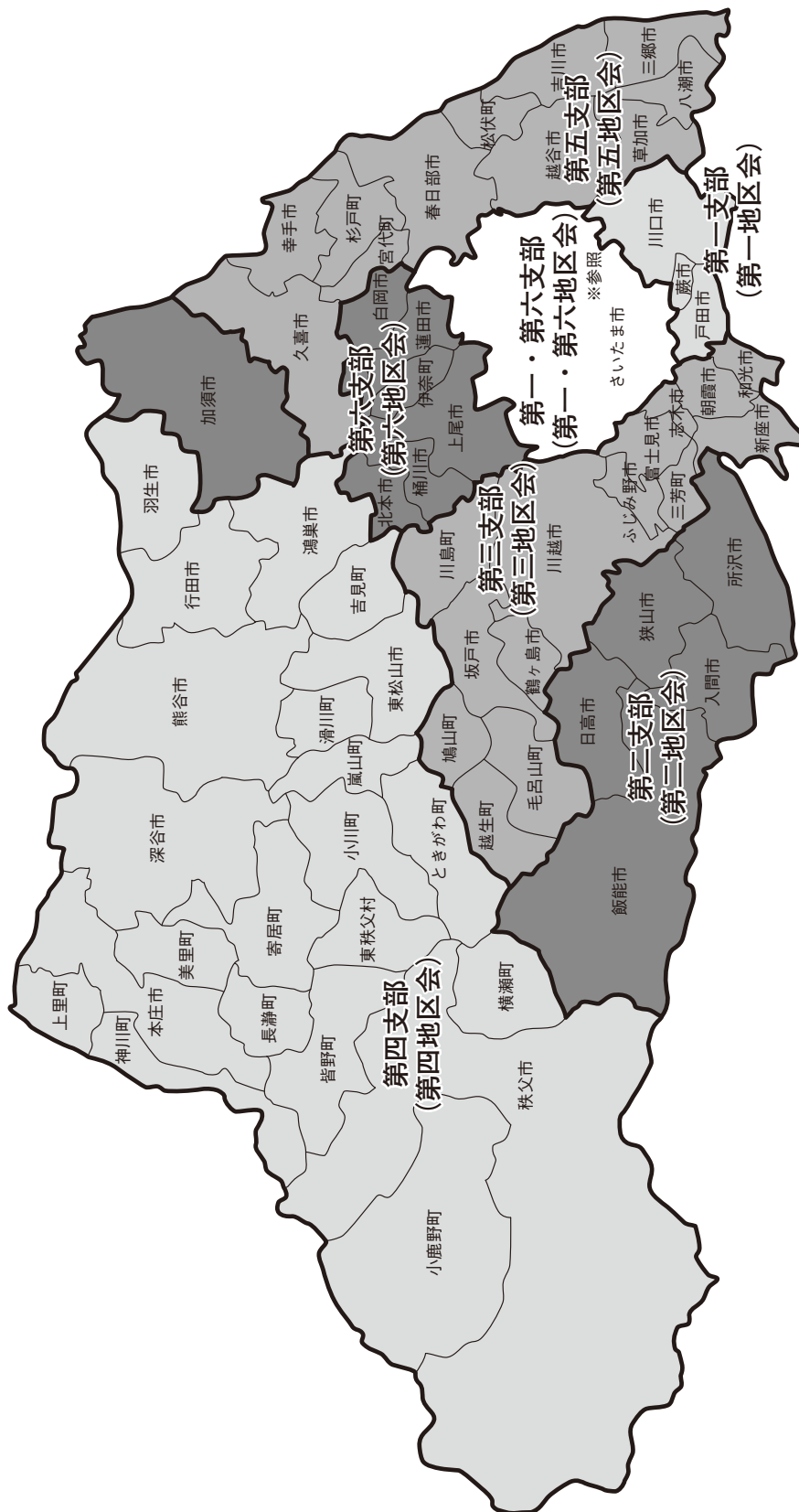
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (平成29年4月1日現在)



※第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
第六支部 上記以外のさいたま市内区

- 巻頭言
- 会告
- お知らせ
- 誌上講座
- 連載企画
- 技術解説
- 総会資料
- 動本会
- 各支部
- 強会情報
- 掲各示支
- コ求ナ
- 議事録
- 動会員
- 役員名簿
- 申込A
- 書X
- シ年コ
- 間ス
- ルケ

平成29年度当初予算

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	収1	共通				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費	0	0	0	3,420,000	0	0	7,980,000		11,400,000	
正会員受取会費				3,240,000			7,560,000		10,800,000	@9000×1200
賛助会員受取会費				180,000			420,000		600,000	@25000×24
事業収益	1,200,000	0	1,020,000	0	2,220,000	410,000	0		2,630,000	14セミナー参加料
講習会受講料等収益	600,000				600,000				600,000	@2000×300
学術大会参加登録費収益	600,000				600,000				600,000	@100000×3 @60000×12
会誌広告収益		0	1,020,000		1,020,000				1,020,000	
福利事業収益					0				0	
貸付収益					0	410,000			410,000	倉庫2F貸貸良
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0	
雑収益	390,000	0	0	0	390,000	0	173,300		563,300	預金利息
受取利息					0		100		100	
雑収益	390,000								563,300	日放委託料 学術大会 機部部表示料 20,000円×17社
経常収益計	1,590,000	0	1,020,000	3,420,000	6,030,000	410,000	8,153,300		14,593,300	
(2) 経常費用										
事業費										
給与手当	205,500	154,107	154,107	0	513,714	0			513,714	事務員給与按分
福利厚生費	138,200	75,000	0		213,200	0			213,200	医師研修・講習会 役員経費他
会議費	128,000	36,000	229,000		393,000	0			393,000	委員会会議費等
旅費交通費	554,440	240,000	72,000		866,440	0			866,440	委員会交通費・日当
通信運搬費	178,522	29,390	663,710		871,622	0			871,622	電話・ネット・郵送費等
減価償却費	263,660	87,886	347,086		698,632	26,012			724,644	
消耗什器備品費					0				0	
消耗品費	194,074	163,591	27,191		384,856	0			384,856	
修繕費	40,000	40,000	40,000		120,000	0			120,000	
印刷製本費	2,000		1,974,024		1,976,024	0			1,976,024	学術大会マニキュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000	0			78,000	電気・ガス、水道
賃借料	923,572	51,325	87,600		1,062,497	0			1,062,497	会費・リース料等
保険料	59,797	19,933	19,933		99,663	0			99,663	
諸謝金	1,157,445	174,315	146,000		1,477,760	0			1,477,760	講師料・原簿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450	20,000			60,450	

支払手数料	6,480	12,960	8,208		27,648	8,000		8,000		35,648	
渉外費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		0		30,000	
委託費			350,000		350,000	25,000		25,000		375,000	HP管理他
雑費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		0		30,000	
管理費											
役員報酬									103,800	103,800	監事
給与手当									565,269	565,269	事務局長・事務局長給与
福利厚生費用									235,000	235,000	会員カード等
会議費									491,100	491,100	理事会等
旅費交通費									549,470	549,470	理事会交通費等
通信運搬費									419,282	419,282	郵便料・電話・ホト代等
減価償却費									468,797	468,797	
消耗什器備品費									0	0	
消耗品費									172,957	172,957	
修繕費									120,000	120,000	
印刷製本費									56,160	56,160	
光熱水料費									78,000	78,000	
賃借料									17,500	17,500	総会会場費等
保険料									99,663	99,663	
諸謝金									1,256,752	1,256,752	税理士 司法書士顧問料他
租税公課									113,000	113,000	
支払手数料									25,920	25,920	振込手数料等
渉外費									120,000	120,000	
委託費									100,000	100,000	
雑費									50,000	50,000	
経費用計	3,942,760	1,128,197	4,162,549		9,233,506	79,012	0	79,012	5,042,670	14,355,188	
評価損益等調整前当期経常増減額											
評価損益等計											
当期経常増減額	▲ 2,352,760	▲ 1,128,197	▲ 3,142,549	3,420,000	▲ 3,203,506	330,988	0	330,988	3,110,630	238,112	
2.経常外増減の部											
(1)経常外収益											
(2)経常外費用											
当期経常外増減額											
他会計振替額				142,271	142,271	▲ 142,271	0	▲ 142,271		0	
法人税・住民税及び事業税						▲ 150,000	0	▲ 150,000		▲ 150,000	
当期一般正味財産増減額	▲ 2,352,760	▲ 1,128,197	▲ 3,142,549	3,562,271	▲ 3,061,235	38,717	0	38,717	3,110,630	88,112	
一般正味財産期首残高											

概要

公益・共益で5:5であった会費収入の事業割合が、平成29年度から3:7に変更となった(第5回定期総会第4号議案「会費規程変更」にて承認)。これにより収支相償の公益目的事業割合が64%と改善されている。

各支部主催で行われている講習会等の諸謝金に対し、源泉所得税分を諸謝金に計上している。